

【 9 月の行事 】

中止	ミニデイサービス (室内レク)
中止	長寿会美化活動
未定	敬老会

【その他の行事】

【 10 月の行事 】

未定	午後 2:00	ミニデイサービス (室内レク)
未定	午前 9:00	長寿会ピクニック
調整中	午前 9:00	区内清掃

【 11 月の行事 】

未定	午前 9:30	地震・津波避難訓練 (宇堅守の会)
未定	午後17:00	うけんまつり
未定	午後 2:00	ミニデイサービス (ピクニック)

新型コロナウイルス感染症の状況により、左記の行事予定は変更が生じます。ミニデイは当面中止

蝸牛と桃の実分かち会ひにけり

まさかのアフリカマイマイと分け合う！(汗)嫌だ〜！  
句集『舞扇』(RII作)

**強風入り！台風警報**  
強烈台風でした。沖縄本島直撃は免れましたが、各地で被害が出ました。今回、西海岸側が大変でした。  
依然として治まりが見通せない新型コロナウイルス感染症です。マスクや手洗い、換気等、心がけください(特に不特定多数の場)。



都市農地と子育て支援の新しいカタチ

東京都 国立市  
NPO法人くにたち農園の会

「つちのこや」は、甲州街道沿いにある「やぼろじ」の母屋で行われる子育て支援プロジェクトで、2017年の2月にオープンした。「やぼろじ」は、江戸時代から続く旧家「本田屋」の敷地の一角にあり、空き家だった古民家を改築したシェアオフィス&コミュニティスペースで、大きな日本家屋と広い庭に歴史を感じる魅力的なところだ。

「つちのこや」では、曜日によって、つちのこ食堂、わらべうたや絵本の読み聞かせ、だれでも茶の間、ばあばのじかんなどが行われる。「板野ちえさんのわらべうた」の時間にはわらべうたの調べに子どもたちは体中で反応する。  
学校帰りにランドセルを置いて遊び始めているのは、はたけんぼ放課後クラブ「ニコニコ」に参加する小学生たち。週2回「くにたち」は「はたけんぼ」や「つちのこや」で放課後を過ごす。この日は畑に布の原料である綿と染料となる藍の種をまく。村井里子さんの説明を聞き入る子どもたち、育てた綿で糸を紡ぎ、オリジナルの作品づくりをしていく。  
畳敷きの広い和室に縁側があり、ガラス戸越しに眺める新緑の景色が心地よい。和室で遊ぶのは赤ちゃんもいれば、就学前の子どもたち、そして小学生たちもいる。古民家では時間の流れ方が違うように感じら



れる。池にはオタマジャクシがたくさんいて、子どもたちは目を輝かせている。会の佐藤有里さんらも傍らで見守りながら一緒に遊んでくれる。  
左(大)・親子田んぼ体験  
右・いきもの  
左・春(植え付け)  
※当会サイトより

自治会活動(行事等)について

新型コロナウイルス感染症の影響で、多数の方々が集まる行事、特に室内で行う行事の実施が困難な状況です。皆様のご理解をお願い申し上げます。  
屋外での作業(区内作業)については、可能な限り実施したいと考えています。

【敬老会について】

敬老会は、対象者(75歳以上)への感謝と健康長寿を記念しての祝いの品をお渡しします。すでに郵送にてご案内をいたしました。是非とも、お受け取りのほど、よろしくお願ひいたします。  
お受け取りの際は、ご氏名をおっしゃってください。ご家族の方のお受け取りも大丈夫です。

【区内清掃】

区内清掃については、可能な限り実施したいと考えています。あらかじめ、評議委員会において検討し、実施の有無について、皆様にお知らせいたします。



婦人がん健診日程

うるみんでの婦人がん健診日程です。宇堅の指定日は6/23です。それ以外の日も受診可能。  
注意: 保険証・受診券・マスクを持参すること  
※受付: 午後=1:30

6	23日(火)	12	15日(火) 22日(火)
7	14日(火) 21日(火)	1	26日(火)
8	18日(火) 25日(火)	2	9日(火) 「ゆらてく」等会場もあります。日時はお問い合わせください。
10	20日(火)		

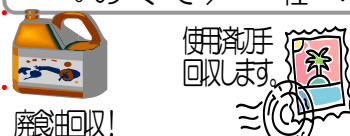
受診には予約が必要。マスクも忘れずに。

健診日程

うるみんでの集団健診日程です。宇堅の指定日は6/16です。それ以外の日も受診できます。  
個別健診(医療機関に予約)もあります。  
注意: 保険証・受診券・マスクを持参!  
※受付: 午前=8:30 / 午後=1:00

6	16日(火) 宇堅 17日(水) 18日(木) 29日(月)	11	24日(火) 25日(水)
7	13日(月) 19日(日)	12	12日(土) 13日(日)
8	22日(土) 23日(日)	1	27日(水) 31日(日)
		2	20日(土)

「区長のドクターズ・ミーティング」(編集後記)  
9月に入って強烈な台風が発生。その対策やらで、お疲れ様でした。特に農水産業においては大変な状況だと思えます。停電もあり、一部では長引いたようです。早く廉価な家庭蓄電池が市販されたい。  
辞任しました(安倍総理)。6月頃から再発したとのこと。しかし、連日のように肉料理やお酒の会食でした。次期総理有力候補は、政策を継続だ。日銀は、ジャブジャブ株買い。食いつくされ、社会の破壊が進んでいます。  
「チースの凶鑑」(本問るみ子著/KADOKAWA)。皆さんチースは好きですか? 私はもちろん大好き。銘柄はたくさんあって、覚えません。製造方法等の違いによる種類がわかって、面白いです。最近、食い物の本が多い(笑)。



救急医療情報キット

高齢者の万一の緊急事態に備えて。迅速な医療処置が行えるようになります。

- ①かかりつけ病院
- ②緊急連絡先
- ③持病・体質等
- ④診察券(北-)
- ⑤健康保険証(北-)

「宇堅守の会」メンバー募集中  
主な目的は、見守りの必要な方(高齢者世帯など)の把握、減災・防災等の取り組みです。無理しない活動を進めています。壮年層の参加を期待。  
お問い合わせ先: 公民館まで  
【定例会】 ◆偶数月の第2月曜日  
午後8時。

(7月末)	宇堅 (外国人除く)	うるま市全体 (外国人含む)
人口(男/女)	1,240(640/600)	124,917 (62,858/62,059)
世帯数	490	54,131
		105(34/71)

※今回は、「字誌」関係の記事を掲載しました。皆さんの情報提供をお願いしたいと思います。

第〇節 青年会の活動

1. 明治期から大正期の青年層の組織化の動き

(1) 日露戦争までの状況
青年団体については、旧琉球王国の時代から、二才揃(ニサイゾロ)・二才連中・若者連中などと呼ばれた組織が存在し、二才頭という統率者を置いていた。琉球処分後の「旧慣温存政策」のもとに、伝統的な形で残された青年団体は、内法(内切村内法)などの村の規範に従い、夜警や治安維持等の村の自治に参加し、風俗、作物、盗難、火災、行旅人、ミヤラビなどの取り締まりにあたりつづけていた。また、村の行事(綱引き等の祭り)の運営に参加し、砂糖黍畑の開墾や道路工事に携わるのも普通のことであった。長く根強く農村生活のなかに生き続けたのであろうとされている。

(略)

(2) 日露戦争後の状況

日露戦争時、全国的に存在した青年会は、出征軍隊に対する慰問・激励・戦勝祈願・歓送迎をはじめ、出征軍人家族の保護や耕作の手伝い、負傷兵に対する見舞、戦没軍人の慰霊祭・石碑建立、遺族救護、軍資金献納、恤兵献金、国債応募、軍需品調製、戦勝・凱旋祝賀など、多岐にわたる幅広い活動を行った。こうした活動に注目した国は、「青年団体の重要性を認識して積極的にその指導改善に後出し」た。1905(明治38)年6月に内務省地方局長は地方長官に対し、「地方青年団向上発達」関スル件」の通牒を発し、続いて同年12月には文部省普通学務局長が「青年団」関スル件を發した。これ以降、政府は地方改良運動の担い手としての青年会の育成をはかることになり、青年会は国家的に沿うものへと再編されていった。(略)

(2) 宇堅青年会の活動

戦後米軍に土地を接収された宇堅では、各地から集まった軍作業員と土地の開放(1953〜58年)とともに郷里に戻った宇堅の住民の寄り合い世帯の部落が形成された。青年会活動を住民に知らせるために機関誌を発行し、住民からも投稿申し込みがあったりした。約30名の会員は暗中模索ながらも大いに活動を展開し、会員相互の絆が深まり、住民からの信頼も大きくなり、期待される組織となった。これは、軍作業員の多い地域の青年会活動は難しいと言われていた中で、組織の運営を軌道に乗せ、大きな成果を上げたことが広く認められ、評価された。そして、1954(昭和29)年6月6日公民館において青年会運営と活動についての発表会が開催され、各地から集まった青年たちの大きな感銘を与えた(琉球新報1954年6月7日)。

そのころのエイサーは、「村」「浜」「東」「西」の4つのグループがあり、それぞれの地域で道ジュネーを行っており、エイサー以外にも空手を羽織った踊りがあった。また、エイサーは、青年会の大きな収入源であった。エイサー練習時期になると、寄付金を募るために、会員が各家々を回って歩き、1年間の活動費とした。復帰以前の自家用車がまだ一般普及していない、エイサーの太鼓は、当時のコザ市胡屋の店にバスで行って購入し、帰りはバスの窓から太鼓を提げて運んでいた。

1970(昭和45)年前後から1986(平8)年ころまではエイサー大会の出場も多くみられ、スポーツ大会でも優秀な成績をおさめており、当時の青年会活動の充実した状況がうかがえる。

(3) 「青年会婦女会設置基準」と青年会(略)

沖縄県が推進しようとした青年会・婦人会とは、「区町村長、小学校長、教員、警察官」を主導者とし、「国民義務の敢行、風紀矯正、実業発展、学事奨励、学力補助」を活動内容とするものであった。戊申詔書(1888(明治21)年)を發布以来、喧伝された地方改良運動の実行団体としての青年会奨励という目的の訓令としてとらえられる。さらに加えて、本部事件後の徴兵忌避対策という狙いもあわせもっていた。

(4) 具志川村青年連合会と各字の青年会活動

戦後の青年会の結成は、荒廃した郷土の再建は若者の団結力が必要ということで、軍隊あがりや教職員の方々を中心となって動き出した。1938(昭和13)年に長浜宗安氏を初代会長とする具志川村青年会が誕生した。PRを兼ねた相撲大会(二十歳の青年による相撲)「産業十年計画」と青年会

(5) 「産業十年計画」と青年会

1915年(大正4)年1月13日「沖縄県青年会規則」が制定された。これは県が自ら青年会を設置・運営仕様とするものであった

(略)

2. 戦後の状況

(1) 具志川村青年連合会と各字の青年会活動(略)

宇堅をはじめ、天願や栄野比、川崎などを米軍に接収された具志川村には国頭方面へ避難していた那覇方面の人々が基地周辺に住み着き、また、海外移民者や軍人・軍属、県外疎開者などの引き揚げの人々も加わりのり、新興集落が形成されていった。こうした中で結成された青年会は、自分たちの住み家や部落の建設に力を注いだ。

(略)

左記に名護千三氏の談話を掲載しました。青年会活動に関連した面白い思い出話を募集します。ぜひ、私(兼城)まで一報ください。また、青年会会長の名整理も行っています。

【名護千三氏談】

① 青年会集合に合図
日中、畑仕事をしているときに、鐘(ボンベ)がなるので、仕事を放り出して公民館に集まって、活動したものであった。

※ボンベの鳴らし方(放送システムがない頃)

・青年会期：カンカンカン ×3回

・子ども会：カンカン ×3回

・評議委員会：カンカンカン……カン

② 字の安全・安心の活動も青年会の重要な取り組み

1961(昭和36)年頃、久田さん宅に強盗が入った際には、青年会が正会員(●)15歳と準会員(○)10歳でチームを組んで自警団を結成し、9〜10時の時間帯を8名体制で宇堅の出入り口で通行者の警備に毎日行うに行い、5年間続けた。警備が終わった15時頃には差し入れのジュシーおにぎりを夜食とした。

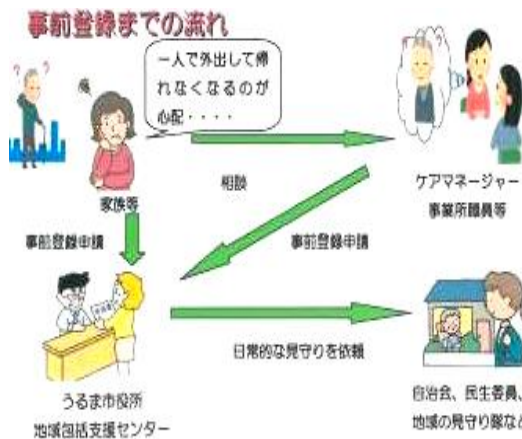
③ 対抗運動会やスポーツ大会

体育部長をしていたころ、陸上競技大会の競技(この出場選手をある程度決めていた。その場で、指示して出場させたりした。予定していた選手がいなかった場合は(時には、途中からいなくなったりした)、自ら出場したりした。出場予定の選手がいなく、1万メートル競技に出たときは、日ごろ長距離は走っていないので、きつかった。4位だったと思う。高跳びであれば自信がある競技なので、優勝も可能性があったと思ったのが。

知念コウトク(?)さんは、体は小柄なほうだったが、宇堅や天願の地域ではとても運動能力があった。足も速かったし、砲丸投げや円盤投げもすごかった。あの頃は、字代表の常連だった。前原地区大会(具志川村や美里村と那城村、勝連村)にも出たが、さすがに広域になると上位に食い込むことは難しかった。県大会には、出場枠が小さかったこともあり、中々出場できなかった。

SOSネットワーク事業

認知症高齢者の検索のための事業です。登録により、迅速に検索活動ができます。
・電話番号 098-973-5112
・FAX 098-982-6041



うるま市就職・生活支援パーソナルサポートセンター

経済的悩み、仕事探しについて、解決のお手伝いをします。
①時間=8:30~17:00(月~金)
②場所=市役所(西棟)
③TEL:989-3972
FAX:989-3971 (事前予約がスムーズです!)

うるま市ひとり親家庭生活支援モデル事業

ひとり親家庭で、子どもの生活環境の改善に向けた支援を必要とし、以下の要件をすべて満たす方
1. 市内に住所(原則3ヶ月以上)・児童扶養手当受給中。
2. 18歳未満の児童を養育していること。
3. 支援期間内の自立に向けた具体的な目標と意欲のある方
優先される方→児童が3人以上、又は1才未満乳児がいる方。
※生活保護法(住宅扶助受給者)や公営住宅入居者は対象外。

後期高齢者医療の高額医療費自己負担限度額について

自己負担限度額の認定証が必要です。相談先:国民健康保険課(後期高齢者医療係) 973-3202 (ファックス=974-6764)

具志川職業能力開発校: 973-6680/5954

【受付期間】
・推薦入校選抜:9月上旬
・一般入校試験(第1回):10月上旬
・一般入校試験(第2回):2月上旬
【訓練科名】
・自動車整備科、電気システム科、メディアアート科、情報システム科、造園ガーデニング科、総合実務科、オフィスビジネス科

一般社団法人沖縄産業開発青年協会
4月入学&9月入学
資格取得の訓練を、寄宿舎生活(半年間・3食付)で行います。うるま市では、受講料(65万円)の半額又は全額補助があります。相談は→923-7634

【職業訓練】
・大型特殊自動車免許
・小型移動式クレーン技能講習
・車両系建設機械運転技能講習
・フォークリフト運転技能講習
・高所作業車運転技能講習
・ローラー特別教育講習
・車両系建設機械科
・玉掛け科
・ガス溶接科
・アーク溶接科
・刈払機特別教育
・伐木特別教育



困りごと相談窓口のご案内

(秘密厳守ですので、お気軽にご相談下さい)

- 【子供の健康や育児、DV関連】
・児童家庭課=973-5041/4983
・こども健康課=989-0220
【保育、子供の預かりや送迎関連】
・保育幼稚園課=973-5427
・ファミリーサポートセンター=070-5677-6733
【高齢者関連】
・地域包括支援センター=972-3595
【心身の障がい関連】
・障がい福祉課=973-5452
【就労・生活支援や生活保護関連】
・パーソナルサポートセンター=989-3972
・保護課=979-6552